

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表(令和6年度)

作成日: 令和 7年 3月 28日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41			・活動内容によって、部屋の使い方や屋外に出向く等、場所を工夫してくれている。	1階支援室・2階支援室・学習室に分けたり、庭を活用して活動等のスペースを確保しています。運動遊びは近くの公園を利用するなど、活動に適した場所を提供しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	3		・子どもたちのニーズに様々な形で対応してくれている。	利用人数に対しての職員の数には適切なので、職員配置等について今後も可能な限り努力します。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	17		・建物は古いのが、清潔に保たれている。	移動に際しては、子どもたちの安全確保のために職員がついています。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	41			・親でも気付かないところをよく見てくれている。	今後も独自のアセスメントシートを用いて、個々に応じた個別支援計画を作成していきます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	39	2		・色々なプログラム、行事が企画されており、他事業所との交流の機会があったり、子どもの希望を取り入れる試みがある。	放課後の主活動は固定していますが同じ課題の中でも、子どもたちの発達に応じて個々に適した内容を考えていきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	23	8	・公共交通機関の利用や、商業施設・公園等への外出の機会があり、障がいのない子どもたちがいる場での活動はある。	クラブ内での支援活動を中心に、今後も所外活動を通して公共の場所で過ごす経験をしていきます。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40	1			利用者負担等について、契約時や更新時に詳細について丁寧に説明しています。不明な点があれば、必要に応じて個別にお伝えしていきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	38	3		・利用時の様子を丁寧に伝えてくれたり、出来ることを誉めてくれる。また、家庭の様子を話すことが共通理解の助けになっている。	毎回の利用時の連絡帳にその日の様子の記入、お送り時や電話、LINEでの報告を密に行っていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37	3	1	・面談時に要望や悩みなどを聞いてくれ、よいアドバイスをくれる。	担当者会議時に、保護者の話を聞き、事業所間で考え、保護者に確認しながら支援方法を共有しています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	14	3	・講師を招いての勉強会では、他の保護者の考えや思いを知る機会になってよかった。	高学年の利用児様が増えるとともに、進路に悩みを持つ保護者が出てきたので、今後は先輩保護者の話を聞いたり、交流が出来る機会を設ける予定です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	3			苦情等ありましたら速やかに対処していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39	2			利用児様や保護者様との意思の疎通や情報伝達がスムーズに図れるように工夫し、より丁寧な対応に努めていきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	38	2	1	・定期的に活動の様子を写真や動画で共有してくれるので、普段の子どもの様子がよく分かる。 ・インスタ開設を希望している。	個人情報に留意しながら、子どもたちの取り組みや頑張りを知っていただけるよう、今後も情報発信に努めます。
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	40	1			LINE等の誤発信等ないように、更に細心の注意を払っていきます。
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	13	3		契約時や保護者会等の中で各マニュアルの説明を行っています。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	18		・災害時のマニュアル連絡が不十分だと感じる。 ・避難時に向かう場所を把握していない。	月1回職員による避難訓練を実施しています。また、年に2回は利用児を含めた避難訓練を実施しています。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	39	2		・次回の活動に興味津々である。 ・年齢が上がり、年下の友だちしかいない状況での利用は気が進まないことが増えた。	利用児様が、「楽しかった」「できた」「またいきたい」と感じられる活動・支援を更に行っていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	40	1		・子どもたちが自分らしくいられる場所となっていて、子ども同士のコミュニケーションも学校ではできないようなことが出来ている。	利用児様、保護者様の希望に添うよう支援の提供に努めて行きます。